

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第144号	氏名	片山 敏郎
学位審査委員	主査	澄川 耕二	
	副査	相川 忠臣	
	副査	山下 俊一	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、心筋梗塞急性期における血清アミロイドA蛋白増加の臨床的意義と予後予測因子としての有用性を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 前向き臨床研究として対象患者と6か月間追跡し、血清中物質及び心機能を計測し、適切な統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、心筋梗塞急性期における血清アミロイドA蛋白値は臨床経過、左心機能と深い関連を有し、心臓死の予測因子となることが明かとなり、心臓病学研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は心臓病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			